

# 視聴覚教育

NO. 468

発行日

R3. 10. 1

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる！？

### サブスクリプション

決められた料金を支払うことで、一定期間、製品やサービスを利用できること。初期費用を抑えたり、契約期間無制限で使えたりなどのメリットがある。音楽や動画の配信だけでなく、ゲームや電子書籍、パソコンソフトでも定着しつつある。

## より身近にある視聴覚教育に向けて

視聴覚ライブラリー所長 福澤 純子

世界中が新型コロナウイルスの脅威にさらされる中で開催された東京2020オリンピック・パラリンピック大会。基本的に無観客となりました。しかし、私たちはテレビやスマホ、タブレット端末の画面から、各選手が体力・精神力の限界に挑む姿に、大きな感動と勇気をもたらしました。とりわけ、本市出身のバレーボール石川祐希さん、妹の石川真佑さん、陸上棒高跳び山本聖途さん。カヌー加治良美さん、陸上千五百メートル山本萌恵子さんの活躍には嬉しさと同時に誇らしさも感じることができました。

今回のオリンピックでは、選手の息遣いを感じる会場で観戦ができない反面、技術を駆使した様々な取り組みがみられました。例えば、バレーボールではワイヤードカメラで天井からの視点、複数のカメラを連動した360度の視点や、屋外競技では、ターゲットを自動追尾するドローンカメラの視点映像などです。これらの映像は、観客席からでは決して見ることができない臨場感を与えてくれました。

また、視聴する側もテレビだけでなくスマホ

やタブレット端末と選択肢が増え、さらに、アプリと連動して「つぶやき」を視聴者が送りあう双方向視聴も可能となりました。このように映像を取り巻く技術や環境は日々進化し、制作する側、視聴する側ともに従来の様子から大きく変わりつつあります。

すでに昨年度から、岡崎の小中学生は一人一台のタブレット端末により、新しい学びを進めています。先月は、他市町村に先駆けてオンライン授業による分散登校も実現しました。岡崎には、オンライン環境とそれを実現する先生方の力、ハード・ソフト両面がそろっています。

拡大と多様化の進む映像・情報分野において視聴覚ライブラリーは、社会のニーズや新しい技術に対して、常にアンテナを高くしておかなければいけません。タブレット端末で可能となった映像制作によるコミュニケーション能力やメディアリテラシーを高め、誰もが手軽に情報発信できる中での著作権を含む情報モラル教育など、新しい視聴覚教育を推進していく必要があります。急速に進展する情報化社会の中で、その意義や使命を再確認し、確実に役割を果たす視聴覚ライブラリーを目指してまいります。

## II 視聴覚教育あれこれ II

### ● 令和三年度岡崎市教育研究大会

残念ながら、令和三年度岡崎市教育研究大会の学習情報分科会は、緊急事態宣言発令中のため中止になった。しかし、熱心に取り組まれた実践リポートは報告された。「デジタルシテイズンシップを高め、Society5.0を伸びやかに生きる子供の育成」をテーマに、発表されるはずだった十二点のリポートを分類すると、GIGAスクール構想を踏まえ、一人一台のMyタブレットを活用した実践が確実に広がっていることが伺える。リポートの分類は次の通りである。

- ① プログラミング学習を活用した実践 (二点)
- ② 各教科・領域で日常的にMyタブレットを活用した実践 (三点)
- ③ 各教科・領域で表現・発信のためにMyタブレットを活用した実践 (四点)
- ④ 情報社会をよりよく生きる心の育成を目指した実践 (二点)

なお、「父母と教師の教育を語る会 (県教研)」には、次の二名が推薦された。

・ 六ツ美北部小学校 岩川 皓司 先生

『詳しく教えてください』をキーワードに、みんなが思考を明確にする国語の学び』

Myタブレットを使って、おすすめの本の紹介動画を つくる実践』

・ 額田中学校 鈴木 広樹 先生

『相手を尊重したSNS上でのコミュニケーションを考える』

『中2・特活NHK for school「はじめをノックアウト」の視聴を通して』

## 実践報告Ⅱ

### 小学校五年生体育科「心の健康」

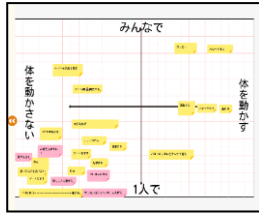
岡崎小学校 南 健太郎

五年生の体育科「心の健康」の单元では、人がそれぞれに抱える不安や悩みを解消するための方法を見付けることを目指している。そこで、児童が学級の友達と関わることによって多様な意見と考え方に触れ、自分自身の悩みや不安にあった解決方法を見付けることをねらい、意見の共有に有効なコラボノートEXを利用した。

まず、児童それぞれに自分の悩みや不安と向き合い、それを解消するための方法を考えるよう促した。これを、グループごとに作成されたコラボノートEXの相關図に書き込むよう指示した。

次に、協働作業モードに変更し、同じ班の友達の不安心や悩みの解消法について意見を書き込むよう伝えた。すると、それぞれ一つの方法しか考えることのできなかつた児童が、「そういう方法もあるんだね」「みんなはこうやって悩みを解決しているんだ」と、友達の見解を参考に、自分の悩みや不安にあった解消法を見付けることができた。コラボノートEXにより、意見を一斉に書き込むことができたため、多様な意見を共有する時間を十分に確保することができた成果と言える。また、相關図を利用したことで、友達の見との違いが明確になり、円滑な関わりを促した。

協働学習アプリを活用することで、児童の意見交流が積極的となり、多様な意見に触れることができた。今後も活用を続けていきたい。



## Ⅱレッツ・トライ！ICTⅡ

### 今回紹介するICT

#### カメラ機能と動画編集アプリ

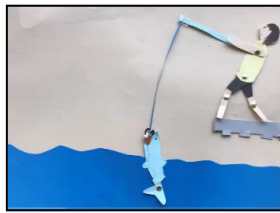
数あるiPadの機能の中でも、小学生の学びをより深くするものとして、カメラ機能があげられる。今回は、簡単に、大量に、かつ繰り返し写真を撮ることができカメラ機能と動画編集アプリ(Flip)等)を活用したアニメーションによる表現、五年生の図画工作科「Myキャラが動き出す」の実践を紹介する。

まず、児童は、関節をピン留めして動くようにした自分だけのキャラクター「Myキャラ」を作った。次に、少しずつ動きを変えて写真に撮った。Myキャラの写真は何度も撮り直ししながら、どのようにすると動きがより大きくなるのか確かめ、Myキャラを修正していた。また、何度も写真をスライドしてパラパラ漫画のようにし、イメージを膨らます様子も見られた。

Myキャラの作成と写真撮影が完了したところで動画編集アプリ(Movie等)を用いたコマ撮り動画制作を行った。児童の中には、一枚の写真が映る時間を短くすればするほど、滑らかな作品が出来上がることに気付き、改めて写真を撮影する子もいた。上映会では、「動き方がダイナミック」などクラスは大盛り上がりだった。

iPadのカメラ機能と動画編集アプリを活用することで、アニメーションという、新たな表現が可能になった。今後も新たな表現を考えていきたい。

(男川小学校 鈴木 俊宏)



## Flip Flip Flip だよ

### ●新規購入教材の紹介

本年度新規貸出を始めた教材の一部を紹介します。学びの秋の手助けになれば幸いです。

#### みんなの情報モラル

20分 小・中対象  
「みんなの情報モラル」シリーズ最新版。全3話で構成され、SNSに潜むリスクをアニメーションで紹介します。

#### はじめて学ぶLGBTs (全2巻)

各15分 小対象  
「人は皆それぞれ違うこと、その違いがいいこと」「こうあらねばならない、ということとは決してない」というメッセージをアニメーションで伝えます。

#### どこにひなんすればよいの？ 南海トラフ大地しん 大つ波がくる

19分 小・中対象  
南海トラフ地震への備えとして、津波発生の仕組みや性質を説明します。そして、逃げるポイントや津波への備えを一緒に考えます。

※ここに紹介した以外にもキャリア教育用等、教材ありますのでご使用ください。

